

訪問看護新聞

グレース訪問看護ステーション城東

改めて「手洗い」について考えていきましょう

コロナ渦を抜けてもなお隠れたところでコロナウイルスは蔓延しています。もう一度手洗いについての見直しを皆さん、ご家族、友人などで共有できればと思います。

コロナ流行により2019年第36週以降～2020年第14週のインフルエンザの推計受診者数は、国内推定約728.5万人だったのに対し、2020年第36週以降～2021年第9週は国内推定約1.4万人と大幅に減少しました。

これはマスク着用、手洗いの徹底により減少したのではないかとされています。

コロナが5類へ移行してからは世間の流れが変わり、コロナ前の生活に戻ろうとしている中で、私たち医療者が関わる方の中には今もなおコロナに罹患する方は減ってはいません。

改めて、正しい手洗いについて振り返りましょう。

きちんと手^てあらいできているかな？



(参考:東京都医療保健局、画像:illust AC)

【洗い残しをしないポイント】

- ① 手の甲、指先に多い
- ② 利き手に洗い残しが多い
→利き手ではない手では洗にくい
- ③ 手肌のお手入れも重要！
→手荒れやひび割れささくれなどに洗い残しが多い傾向

これから注意する季節



夏・・・食中毒
秋・・・免疫力低下
冬・・・インフルエンザ

注意すべきウイルスはたくさんありますが、これから暑い夏に向けて食中毒が増えてきます。正しい手洗いをして、健康に過ごしていきましょう。

